報告書 (第3回)

ごみの見える化で進めるSDG's in 富山市











時間 9:00~10:00 実施日 2022年5月3日

国道8号線金泉寺交差点周辺 場 所

もしもしピット(水橋二杉)

参加者 22名

回収高 900L (30L×30袋)













富山県

日本たばこ産業・ネッツトヨタ富山・美しい富山湾クラブ

富山県地域活性化団体まるごとTOYAMA

ヤマダデンキ富山金泉寺店様の協力で駐車場の一部を利用させていただきました。 富山市の協力で集めたごみは環境センターが回収してくれました。

活動チラシと活動実施ガイドライン



清掃予定範囲↩



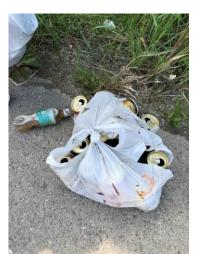


国道 8 号線の立体交差部周辺はポイ捨てポイントとなっているところが多い。 草陰や植込みに小さなごみがちらほら確認出来た。

















注意事項など十分確認した後、安全第一で実施。





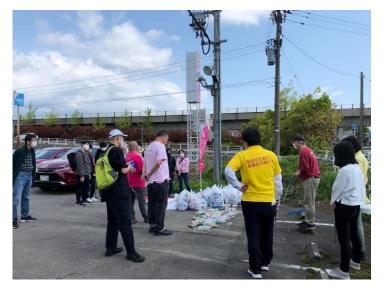






交差点付近のごみ回収量は過去最大 集めたごみの前で、記念撮影

*駐車場内では、ごみの分別調査が出来ないので場所を移動



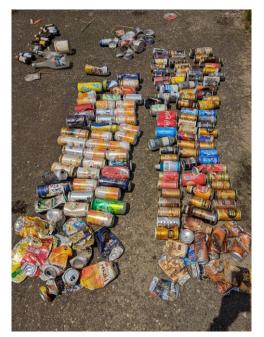








ペットボトルや空き缶などを並べてみると

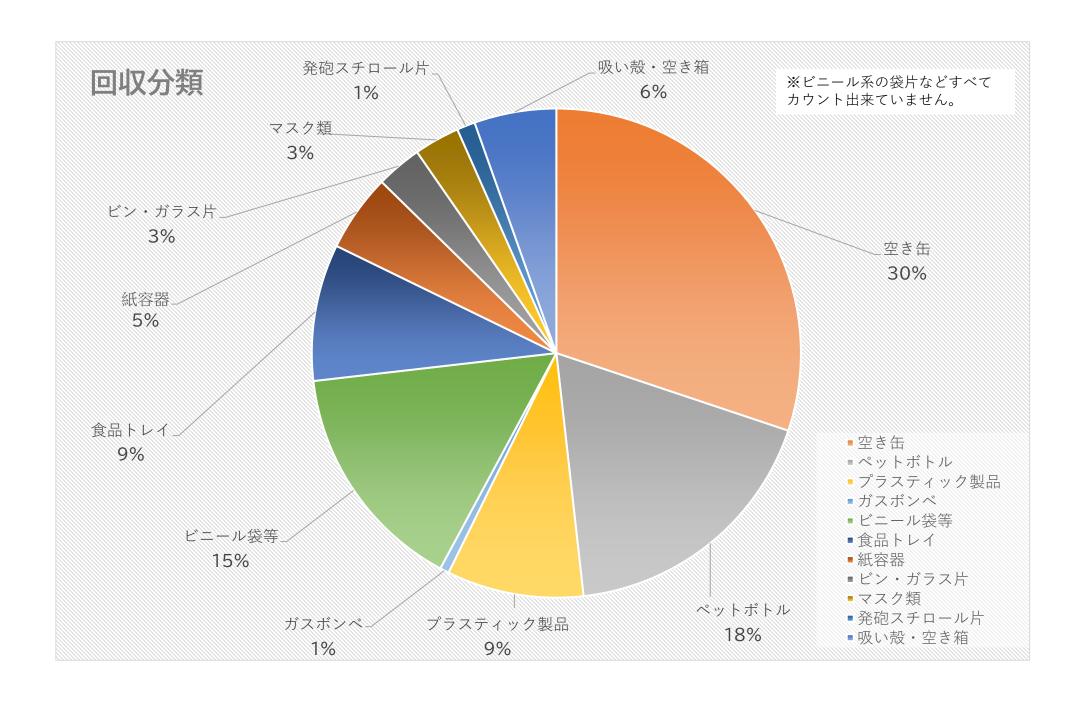












金泉寺交差点は範囲としては小さいが、富山県下でもっともポイ捨て量が多いと考えられる。 最近は、空き缶やペットボトルのポイ捨てだけではなく、レジ袋に詰め込んだ「袋ごとポイ 捨て」が多い傾向にある。

また、国道8号線もしもしピット(常願寺川横)では、BBQ後のごみやアルコール缶の大量 放置が目立った。

どちらの場所も道路に面した民家がなく歩行者・自転車などの通行は少ないため生活ごみが発生する原因もないことから、殆どのごみは自動車からのポイ捨てごみと推測できる。また、高架下は人の目が気にならないのと沿道の緑地帯や法面の草むらがポイ捨てごみを目立たなくする特性があり、絶好のポイ捨てしやすい環境になっている。

ペットボトルや空き缶のごみが目立った。 ドライバーのマナー向上やポイ捨てされにくい環境づくりが重要。







車からのポイ捨て対策が必要